

社会資本総合整備計画 事後評価書

令和04年02月10日

計画の名称	誰もが安全・安心に利用できる公園づくり												
計画の期間	平成28年度～令和02年度（5年間）								重点配分対象の該当				
交付対象	藤沢市												
計画の目標	<ul style="list-style-type: none"> ・老朽化した公園施設（遊具等）での事故を未然に防ぐため、施設の更新や計画策定を行い、誰もが安全で安心に利用できる公園づくりを目標とする。 ・公園施設長寿命化対策支援事業では、公園利用者の安全・安心の確保を図るため、遊具等の更新を進めます。 ・公園施設長寿命化計画策定調査では、公園施設（遊具等）に要するコストの低減を図るため、長寿命化計画の策定を進めます。 ・市街地緑化防災対策推進事業では、広域避難施設等への避難路の確保や密集市街地における延焼防止を図るため、街路樹の更新を進めます。 												
全体事業費（百万円）	合計（A+B+C+D）	168	A	168	B	0	C	0	D	0	効果促進事業費の割合C / (A+B+C+D)	0	%

番号	計画の成果目標（定量的指標）			
	定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値		
		当初現況値	中間目標値	最終目標値
		H28当初	H30末	R2末
1	・老朽化した遊具等の改修数の増加を図る。 長寿命化対策を図った公園数	0公園	公園	26公園
2	・公園施設長寿命化計画策定公園数の増加を図る。 公園施設長寿命化計画策定した公園数	80公園	公園	278公園
3	・街路樹の更新により、沿道からの出火に対する遮蔽率や輻射熱の軽減を維持する。 沿道からの出火に対する遮蔽率	27%	%	48%

備考等	個別施設計画を含む	-	国土強靱化を含む	-	定住自立圏を含む	-	連携中枢都市圏を含む	-	流域水循環計画を含む	-	地域再生計画を含む	-
-----	-----------	---	----------	---	----------	---	------------	---	------------	---	-----------	---

A 基幹事業																					
基幹事業（大）	番号	事業 種別	地域 種別	交付 対象	直接 間接	事業者	種別1	種別2	要素となる事業名 （事業箇所）	事業内容 （延長・面積等）	市区町村名/ 港湾・地区名	事業実施期間（年度）					全体事業費 （百万円）	費用 便益比	個別施設計画 策定状況		
												H28	H29	H30	H31	R02					
		一体的に実施することにより期待される効果																			
		備考																			
都市公園・緑地等事業	A12-001	公園	一般	藤沢市	直接	藤沢市	—	—	藤沢市都市公園安全・安心対策事業	藤沢市公園施設長寿命化対策 支援事業 遊戯施設等改築・ 更新 2.6公園	藤沢市	■	■	■	■	■	124		—		
	A12-002	公園	一般	藤沢市	直接	藤沢市	—	—	藤沢市都市公園安全・安心対策事業	藤沢市都市公園施設長寿命化 計画策定調査 計画策定1.9 8公園 再策定2.1公園	藤沢市	■	■	■	■	■	31		—		
	A12-003	公園	一般	藤沢市	直接	藤沢市	—	—	藤沢市緑地環境事業	街路樹の更新 地区面積3.1 h a	藤沢市	■					13		—		
												小計						168			
												合計						168			

事後評価

○事後評価の実施体制、実施時期

事後評価の実施体制

策定主体にて評価を実施

事後評価の実施時期

令和4年2月

公表の方法

藤沢市のWEBページに掲載

○事業効果の発現状況

定量的指標に関連する
交付対象事業の効果の発現状況

- ・市内の公園にある遊具を更新した結果、安全・安心に遊具を利用できる公園が増加した。
- ・市内の公園施設のうち、長寿命化計画が未策定の遊具について、新規に計画を策定し、市内の遊具について計画的に改築・更新を進めている。また、計画策定済みの施設のうち、小規模建物については再度調査を行い、計画の見直しを行うことにより、支出の平準化が図れた。
- ・街路樹の更新を行い、密集市街地における延焼防止を図り、広域避難施設等への避難路の確保を行った。

定量的指標以外の交付対象事業の
効果の発現状況（必要に応じて記述）

○特記事項（今後の方針等）

- ・公園施設長寿命化計画を策定した公園について、計画的に施設の更新等を進める。
- ・公園施設長寿命化計画の更新時期を迎える施設について、将来の維持管理費の縮減を勘案し、各公園施設の利用状況等も踏まえて計画の見直しを進める。

○目標値の達成状況		
番号	指標（略称）	
	目標値／実績値	目標値と実績値に差が出た要因
1	長寿命化対策を図った公園数	
	最終目標値	26公園
	最終実績値	26公園
2	公園施設長寿命化計画を策定した公園数	
	最終目標値	278公園
	最終実績値	282公園
3	沿道からの出火に対する遮蔽率	
	最終目標値	48%
	最終実績値	45%